

KYOTO Technical Site

取材・文/トリアウト 撮影/二國一



blanc blue minuit

フラン・ブルー・ミニユイ
フェイクムートンブルゾン 19800円

表地にポリエステルスエードを、裏地にアクリルボンディング素材を使用。リアルムートンに比べ扱いやすく、湿気やカビなどに強いのが特徴。アメリカ空軍の防寒着であるフライトジャケットに改良を加え、ショールカラー仕立てにすることでカジュアルさもアップ

pralá pracá

帽子や靴、アクセサリなどを販売する服飾雑貨店。通常だと脇役に廻りがちなアイテムだが、ココで買ったモノをベースにその日のコーディネートを決めたいようなアイテムが満載。商品はハンドメイドによる繊細なバッグ作りで知られるフランス発ブランド、ジャマン・ピュエッシュをはじめとした高感度セレクトショップで扱われるブランドをスタンバイ。また東京発のシューズブランド、ジョセのレザースリッポンもおすすめ。

ブララ ブラカ 075・257・8025



ANAGRAM アナグラム レザージャケット 83000円

レザーなどの高級感あふれる素材を使用したアイテムも豊富とするフランスの老舗ブランド。伝統的なWプレストを採用した写真的JKTは軽く柔らかいから革製で、ハーフベニーが素材など全て別注。その他、同じくデリーユースOKの革製のJKTなら3万円台から揃う



「ニューベシーック」を一貫したコンセプトに、時代のトレンドを少しずつ取り入れながら10年後も変わらずに着られるアイテムがスラリと並ぶ。一見すると流行のブランドと差異は見られないかも知れないが、身体に優しい天然素材を使用するなど、最近では必要不可欠な要素「エコ」と取り入れると言った一面も垣間見れる。おすすめは最高級のハリスツイードを使用した「赤さ」に一生モノ」と思わせるイギリスメイドのトートバック。

イスラ ファーブラ 075・257・8024

isla fābula



prala pracá

プララ
トートバック 16800円

デッドストックのファブリックをパッチワーク風に縫い合わせたラウンドバック。ハンドメイドなので、一点ずつ柄の雰囲気が違う。また、裏側はペロア素材を使用している。シックな裏側は仕事用→派手な裏側は夜やおフ用と一日中対応するオールラウンドプレイヤー



「パリの街角にありそうな雑多とした空間」をイメージした店内には、ディナーの持ち合わせまで時間が余ったのでちょっと寄り道でも買えそうなリーズナブルなシャツやリンピースから、写真のような高級なJKTまでラインナップ。サシズンにおすすはキッドモヘアのワンピースやペロア素材を用いたJKT。対象年齢が25歳前後というのだから、大人っぽいお洒落を採っていた女子学生からド真ん中のOLまで、幅広く受け入れてくれる。

ハーフベニー 075・257・8050

HALF PENNY

食のイメージが「実は…」という話。

「アンチ・モール」という耳慣れない概念で登場した新風館は、久々に京都に現れたエポック・メイクな複合商業施設だった。以来数年、最近では北京料理をベースにした全く新しい展開を見せるキワ・コーポレーションの胡同マンダリンや、京都では既に絶大な信頼を得ているジョージズ・ファーマニチャープロデュースのアスク・ア・ジラフなど、気鋭の料理店が多数フィーチャーされる傾向にある。そのライフスタイルにおいて、エンゲル係数が高い女子学生やOLの利用率が多いことを考えれば致し方ないことかもしれないが、実のところ飲食店の割合は全体の25%にも満たない。つまり多くの人がその話題にのせ、認識している「食の新風館」の実体は、全ての魅力の份の1/4ほどと言うことになる。

残りの魅力を占めるもの、それは日本有数のセレクトショップ、ビームスであり、関西で唯一の店舗となるJ・リンドバーグであり、イタリア発のディーゼルであり…。つまりファッション黎明期の人々から高感度なプチセレブまでをも垂涎させるショップ・セレクトションこそが、70%以上の実力なのだ。それは参画するショップに対して妥協を許さない目利きが可能にするものであり、上記のショップに関しても、その目の細かいフィルターでこされた上に胸を張って看板を掲げることのできる素性がある。

京都に留まらず、エリアを関西圏に広げても「衣」「食」がこれだけ高次元でまとまった複合商業施設は、実は多くはない。



新風館 京都市中京区烏丸通姉小路下ル 11:00~20:00/不定休